

# GEM療法(膵・胆管)

【対象症例】

転移性膵がん

【登録診療科】消化器外科、外科

【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
①	デキサメタゾン	6.6mg	30分	day1,8,15
	グラニセトロン	3mg		
②	ゲムシタビン	1000mg/㎡	30分	day1,8,15
	生理食塩水	100mL		
③	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1,8,15
【投与スケジュール】1コース 28日間				

# GEM療法(膵・胆管)

【対象症例】

転移性膵がん

【登録診療科】

外科

## 【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
①	デキサメタゾン	6.6mg	30分	day1,8,15
	グラニセトロン	3mg		
②	ゲムシタビン	1000mg/㎡	30分	day1,8,15
	生理食塩水	100mL		
③	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1,8,15

【投与スケジュール】 1クール 28日間

## 【禁忌】(必ず確認してください)

- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎または肺繊維症のある患者
- ・胸部への放射線療法を施行している患者
- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・重症感染症を合併している患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

## 【休薬・中止規定】

- ・腫瘍の明らかな増大、新病変の出現等、病態の進行が認められた場合
- ・間質性肺炎等の肺毒性の発症や急性増悪、過敏症、重症感染症、心筋梗塞、呼吸困難等のアナフィラキシー様症状が発現した場合
- ・微小血管症性溶血性貧血の兆候が認められた場合等
- ・投与当日の白血球数が2000/ $\mu$ L未満、又は血小板数が7万/ $\mu$ L未満(骨髄機能が回復するまで投与延期)

## 【減量規定】

前回投与後に発生した有害事象					次回投与時の ゲムシタビンの 投与量(mg/m <sup>2</sup> )
非血液学的毒性	Grade	白血球数(/ μ L)	好中球数(/ μ L)	血小板数(/ μ L)	
	1	施設基準値   3000	施設基準値   1500	施設基準値   75000	修正なし
	2	3000   2000	1500   1000	75000   70000   50000	
		2000   1000	1000   500	50000   25000	
	3	2000   1000	1000   500	50000   25000	1000→800
	4	1000未満	500未満	25000未満	
悪心・嘔吐	1	摂取習慣に影響のない食欲低下(嘔吐回数;1回/24時間)			修正なし
	2	顕著な体重減少。脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少。 24時間未満の静脈内輸液を要する。(嘔吐回数;2～5回/24時間)			
	3	カロリーや水分の経口摂取が不十分、24時間以上の静脈内輸液/経管栄養 TPNを要する。(嘔吐回数;6回以上/24時間)			1000→800
	4	生命を脅かす			
非血液学的毒性 (悪心・嘔吐・及び食欲不振、疲労、脱毛を除く)			Grade1		修正なし
			Grade2、Grade3、Grade4		1000→800

## 【注意事項】

- ・投与間隔(週1回)と点滴時間(30分)は必ず遵守すること

## 【患者の緊急受診(連絡)事項】

- ・歩けなくなるようなめまい時
- ・38℃以上の発熱
- ・食欲不振が長く続くとき
- ・急な嘔気・嘔吐
- ・長く続く空咳とひどい息切れ

2017年5月1日 作成

・身の回りのことができない程の倦怠感                      ・物を持てない、歩けないような手足のしびれ

【緊急時連絡先】イムス三芳総合病院(夜間:緊急連絡先、日中:外科外来)

GradeはCTCAE v 3.0に準ずる

プロトコル開始年月日

2017年05月01日

プロトコル責任者

外 科 三原 良明